

平成29年度 学校評価実施報告

栃木県立大田原女子高等学校

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

本校の教育目標「情操豊かで知性の高く社会に貢献できる女性を育成する」を実現するため、
1「夢を志に高め 未来を拓く女性を育む」 2「豊かな心を持ち 生涯にわたり学び続ける女性を育む」 3「地域とつながり 社会に貢献できる女性を育む」を目指すこととした。

(2) 評価実施時期及び実施方法

- ア 教職員の自己評価 平成29年12月に全職員にアンケートを実施した。
- イ 保護者による評価 平成29年1月に全保護者にアンケートを実施した。
- ウ 生徒による評価 平成29年7月と12月に全校生徒にアンケートを実施した。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

- 公表時期 平成30年3月以降
- 公表の方法 「PTA会報」誌上及び「学校HP」に公表する。

(4) 評価結果

ア 教職員による自己評価

- ・肯定的評価の高かった項目
「適切な進路情報を提供」「生徒の学習相談や質問に答える」「悩みや相談に応じてくれる」
- ・否定的評価が比較的高かった項目
「校内の美化活動」「英語教育の充実」「自ら学ぶ態度の育成」

イ 保護者による学校評価

- ・肯定的評価の高かった項目
「学校行事の充実」「部活動・生徒会活動の充実」「PTA活動」
- ・否定的評価が比較的高かった項目
「英語教育の充実」「読書に親しむ環境」「授業の満足度」
- ・いじめ対応に関する質問では、概ね良好な評価を受けている。

ウ 生徒による学校評価

- ・肯定的評価の高かった項目
「学校行事の充実」「部活動・生徒会活動の充実」「生徒の学習相談や質問に答える」
- ・否定的評価が比較的高かった項目
「英語教育の充実」「HPの更新」「学校評価の結果反映」
- ・7月に比べて12月の授業評価では、授業満足度が81.2%から81.3%と変化はなかった。
自由記述としては、「演習と授業時間のバランスをとってほしい」「テスト範囲を早めに知らせてほしい」「板書の文字の大きさや色使いを増やしてほしい」などがあった。

(5) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

- ・7月の「生徒による授業評価」をうけて、各教科で話し合いの時間を設け、授業改善に努めた。
- ・研究授業や職員間の授業公開を積極的に行い、授業見学を奨励した。
- ・アクティブ・ラーニング講習会や現職教育を実施した。

(6) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・授業改善を今後も継続し、授業公開・研究授業の回数を増やしていく。
- ・生活安全指導や服装・容儀指導・清掃指導を徹底させる。
- ・学校評価の結果を受けての改善点を保護者・生徒に明示する。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

学校評議員（5名）と保護者（PTA会長1名・筆頭副会長2名）と教員で構成する「学校関係者評価会議」を実施した。

(2) 評価実施時期及び評価方法

ア 実施時期 平成30年1月30日（火）

イ 実施方法

- ・学校より評価結果の説明
- ・質疑応答
- ・意見聴取

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

ア 公表時期 平成30年4月

イ 公表の方法 「PTA会報」誌上及び「学校HP」に公表する。

(4) 評価結果

- ・具体的な要望にどう対処したか生徒・保護者に伝える努力が必要である。
- ・体験を重視し、生きる力や人間力が高まる指導が必要である。
- ・キャリア教育を充実させ、将来を見据えた職業観につながる情報を与えることが大切である。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・生徒からの要望事項の検討結果を生徒評議員会と生徒会の機関誌で速やかに伝えていきたい。
- ・アクティブ・ラーニング、テスト問題改善を行い、考える力や表現力の育成に努めていきたい。
- ・HPをこまめに更新し、学校の活動を積極的にPRしていきたい。

3 学校の情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 保護者対象授業公開の開催

6月13日（火）実施 5～7時限 授業公開

(2) 小中学校対象授業公開及び情報交換会の開催

6月13日（火）実施 5・6時限：授業公開、7時限：情報交換会

(3) 文化祭「大女高なでしこ祭」の一般公開 9月3日（日）

(4) 部活動及びその他諸活動の看板掲示（正門前）による地域への広報

(5) PTA新聞「大女高PTAだより」への掲載 年2回発行（6月、2月）

(6) 学校ホームページへの掲載 適宜

(7) 新聞等報道機関への記事素材の提供 適宜